

中学部入学のしおり

自主 ・ 自律 ・ 自治



ソウル日本人学校

住 所 : 〒03919

SEOUL 特別市麻浦区 WORLDCUP 北路 62GIL11

TEL : 02-308-2010 (代)

FAX : 02-572-6972

H. P : <http://www.sjs.or.kr/>

E-mail : gakko@sjs.or.kr

1. 本校の概要について

本校は、1972年5月8日、日本人会（現SJC）によって設立され開校しました。当初は、龍山区漢南洞のビルの一角を間借りして教育が行われていましたが、1980年に江南区開浦洞に校舎を建設して2010年9月まで使用されました。2010年9月からは麻浦区上岩洞DMC地区に3代目となる新校舎が建設され現在に至っています。

本校は、韓国国内においては、当時の文教部（現在の教育科学技術部）より『**私立各種学校**』として認可されています。また、日本政府からは、文部科学省より「**小学校・中学校の課程と同等の課程を有する在外教育施設**」として認可されています。

本校の教育課程は、文部科学省から示されている学習指導要領に準拠し、さらに韓国語や英会話の時間など海外ならではの特色ある教育活動を取り入れています。幼稚部、小学部、中学部の3つの学部からなり、361名(1/4現在)の子どもたちが学んでいます。職員は、日本からの派遣教員と現地職員がいます。また、運営の経費は主に保護者の皆様からの入学金、授業料等によってまかなわれています。

2. 教育目標について

本校の教育目標は“**「たくましく心豊かに世界に生きる子ども」の育成**”です。その子どもたちの理想の姿を、具体的に次のように考えています。

- 礼儀正しく、進んで行動する子ども
- 健康で、思いやりのある子ども
- 夢を持ち、世界に向け心を開く子ども

このような子どもに育てて欲しいというのが私たちの願いであり、すべての教育活動はこの教育目標を達成するために計画、実行されています。しかしながら、上にあげたような子どもは学校教育の中だけで育つものではありません。**家庭と社会、そして学校の調和の取れた協力関係が必要です。**その中でも学校の果たすべき役割や責任はより重く、その重要性を強く認識して日々の教育活動に取り組まなければならないと考えております。

保護者の皆様におかれましては、お子様の教育に関心をお持ちいただくとともに、学校の諸行事等にもご理解いただき、ご参加くださるようお願いいたします。

3. 中学部について

1年生から3年生まで62名(1/4現在)の生徒数で、「**自主・自律・自治 気づき、考え、実行できる中学部**」を目指しています。そのためにも、伝統である「中学部ファミリー」の心を大切にしたいアットホームな雰囲気の中、夢の実現に向けて充実した学校生活を送れるように支援しています。本校中学部では、下記の事項を重点課題として指導しています。

○自主・自律・自治 気づき、考え、実行できる中学部

中学部ファミリーの一員としての自覚を育み、同じ目標に向けて協力して行動することができる力を強化することで、互いに「学び合い」「認め合い」「磨き合い」「高め合う」

集団を目指しています。また、自分の役割に強い自覚と責任を持って活動する姿勢を育成すると共に、集団行動のために自己を知り、周りに対する思いやりや規範意識、道徳意識を高めるために「自主・自律・自治」を大切にして指導にあたっています。

○活躍の場の保証 <学習するための基盤作り> ⇒ 実行委員会活動

子どもたちのやる気を引き出すためには、子どもたちが「自分は頑張っている、周囲の人から認められている」などの自尊感情や自己肯定感を高める活動が大切だと考えます。そのため、全員が必ず行事の実行委員に参加し、行事の運営に携わっています。部活動としての取組みが少ない分、行事での成長が日本人学校では大切だと考えています。

○学力向上 ⇒ 授業の質の向上、個に応じたきめ細やかな指導、テスト計画表の作成、 授業時間の確保 成績カード（成績データの蓄積）

進路学習の一環として、できるだけ高校説明会の機会を確保しています。高校の先生から話を聞くことで、高校をより身近に感じられるようになると考えています。

○校外学習、現地校交流の充実

日本と古くから関わりの深い韓国という国を、子どもたちが学び理解することで、視野が広く、幅の広い考え方を持つ国際人になることができると考えています。そのために、現地校との交流をはじめ、その他の多くの現地交流活動や、お祭りなどのSJC主催の行事などに、できるだけ多く参加し子どもたちの見聞が広がるよう取り組んでいます。今年度は現地校の文化祭に参加し、日本文化を紹介しながら現地校の生徒とコミュニケーションを深めることができました。

◆ 現地校との交流活動

交流校：善一中学校 文化祭参加、交流会、交換一日体験（4名）
ドワイト・インターナショナルスクール

◆ その他

- ・ 現地福祉施設学校での福祉体験活動（中1）
- ・ 職業体験学習（中2）
- ・ ナザレ園訪問、釜山日本人学校との交流（中3）

○体力向上 ⇒ スポーツタイムの実施

- ・ 本年度：バスケットボール、サッカー、卓球、バドミントンを実施
⇒ 体育の授業での体力向上を意識したトレーニングの実施

4. 学校生活について

(1) 授業日数および休日

①授業日数は例年200日程度です。

②授業をしない日は例年、下記の通りとなっています。

・土曜日と日曜日 ・韓国の祝祭日

・長期休業日（夏季休業・冬季休業・春季休業） ・開校記念日

③平成31年度の入学式は4月12日（金）を予定しています。

なお、中学部の生徒は例年、全員正装で出席しています。

(2) 教育課程について

①選択の時間の取り扱いについて

英会話・韓国語の授業では、言葉や文化に親しむことを目標としています。

②総合的な学習の時間について

総合的な学習の時間については、国際理解教育や進路学習等の総合的な学習活動の取り組みを通して、各教科の学習と関連させながら、生徒が自ら課題を見出し、自ら学び、考え行動し、問題解決を図っていけるような力を伸ばすよう取り組んでいます。

中1の内容：校外学習・現地校との交流・進路学習・福祉体験活動

中2の内容：校外学習・現地校との交流・進路学習・職業体験学習

中3の内容：修学旅行・現地校との交流・進路学習

③学習指導要領の授業時数に加えて、これまで次の学習の時間を確保してきました。

(ア) 第1学年：週1時間韓国語の授業と週1時間英会話の授業。

(イ) 第2学年：週1時間韓国語の授業と週1時間英会話の授業。

(ウ) 第3学年：週1時間韓国語の授業と週1時間英会話の授業。

(エ) 各学年共通：

週に2時間「チャレンジタイム」の時間を設定し、スポーツタイム（部活動）や学部行事、生徒会活動および学級活動などに充てています。また、週に1時間「ゆうゆう」の時間を設定し、生徒会活動や学級活動に充てています。

(3) 時間割 【中学部1年】

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1校時	数学	数学	社会	数学	音楽
2校時	国語	英会話	数学	英語	理科
3校時	理科	英/音	美/英	韓国語	英語
4校時	英語	国語	美術	国語	体育
5校時	体育	道徳	家庭科	理科	国語
6校時	社会	体育	家庭科	総合	社会
7校時	総合	チャレタイ	ゆうゆう	チャレタイ	学活
下校時間	16:30		16:00	16:30	

※火曜日・木曜日7校時のチャレタイとは「チャレンジタイム」の略称で、この時間は主にスポーツタイム（部活動）や学部行事、生徒会活動および学級活動などに充てています

(4) 授業時間

- ①登校時刻 (午前8時10分)
- ②朝の会 (8時10分～8時20分)
- ②第1校時開始時刻 (午前8時20分〔50分授業〕)
- ③登下校バス発車時刻 ← 通学運行表が配布されます。
- ④下校時刻 ← (3) 時間割の表を参考にしてください。

(5) 定期考査について

- ①第1学期 学力テスト・中間考査・期末考査
 - ②第2学期 学力テスト(2回)・中間考査・期末考査
 - ③第3学期 学力テスト・学年末考査
- ※ 年に4回、学力テストを実施します(4月・8月・10月・1月に実施)

(6) 放課後の課外活動(チャレンジタイム)について

- ①生涯スポーツを楽しむ基盤作りと体力増進を目指して、スポーツタイムを実施しています。
- ②平成31年度のスポーツタイム実施種目はバスケットボール、サッカー、バドミントン、卓球です。

(7) 服装・髪型について

- ①服装・髪型については、ご家庭での判断としています。
- ②運動時(体育の授業・スポーツタイムなど)は体操服での参加になります。
- ③始業式や終業式では、正装で参加するよう呼びかけています。

※ 基本的に服装・髪型に関しては、ご家庭での指導をお願いしていますが、卒業後は上級学校進学もしくは就職することを視野に入れ、その場にふさわしい服装が出来るよう学校側でも指導を行っています。

中学生の時期は、お子様にとって多感な時期であると同時に、「義務教育を終えた後、世界へ羽ばたく準備をする」大切な期間だと考えています。そのため、保護者の皆様と共に、子どもたちが「自分の力で、その場にふさわしい行動ができる力」を身につけることができるよう最大限支援していきたいと考えております。

<正装の基準>

男子は、白いYシャツ・ズボン・ネクタイ着用・(冬期)ブレザー

女子は、白いシャツ・スカート・ネクタイ着用・(冬期)ブレザー

を基本とし、「その服装で高校受験等に行くことができる」ことが目安になるかと考えています。節目で襟を正すことはとても大切なことです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

5. 学習に必要なもの(副教材について)

教科	学校でまとめて取り寄せるもの(予定)	個人で準備していただくもの	家庭学習用に推薦できるもの 必需ではありません。
国語	新国語便覧・よくわかる中学国 文法(1年時購入) 1年～3年 ・国語のワーク ・漢字の学習 ・教科書準拠プリント	1年～3年 習字の道具一式 (大・小筆、半紙100枚程度) 国語辞典(中学高校用) 漢和辞典(同上)	1～3年 自分にあった問題集や参考書
社会	1・2年(地理/歴史) ワーク(教科書の確認) 資料集(最新地理資料集・学 び考える歴史) 3年(公民) 資料集(新しい公民) ワーク(教科書の確認) 1～3年 教科書準拠プリント	ノート ファイル(プリントなどを 保管するもの)	1～3年 自分にあった問題集や参考書 ・新聞を読む機会が多いほど関 心が高まります。
数学	1～3年 精選問題集 数学リピータ学習 教科書準拠プリント	コンパス・三角定規・分度器・ 電卓(必要に応じて)・のり	1～3年 自分にあった問題集や参考書
理科	1～3年 ワークブック 教科書準拠プリント	ノート	1～3年 自分にあった問題集や参考書
英語	1～3年:ワークブック 教科書準拠プリント 精選問題集(2、3年)	罫線付き英語用ノート	1～3年 英和・和英辞典(電子辞書は 持ってこない) ※1 自分にあった問題集や参考書
音楽	1～3年 ワークブック	アルトリコーダー ※2	
美術	1～3年 ○木版画の時の版木・インク ○紙粘土・ひも・針金・ニス ○工芸用木材 ○絵画定着スプレー ○作品台紙用画用紙	2B～4Bの鉛筆(2本) 〈シャープペンは不可〉 彫刻刀セット、カッター、はさみ、 水彩絵の具セット、絵筆(今まで 使っていた丸筆の他に、大中の 平筆も)	
技術	必要に応じて教材を購入		
家庭	1～3年 ハンドノート	2年 裁縫道具(小学校で使用 していたものでよい)しつけ 糸、スナップ、ボタン糸 ブックカバーかペットボトルカ バー用の布	調理実習 献立・材料等は当地の状況 に合わせてすすめていく。1～ 3年エプロン、三角巾、ふきん
英会話	テキスト ※3	クリアファイル	
韓国語	テキスト ※4	クリアファイル	

保健 ・ 体育	<p>【学校でまとめて購入するもの】</p> <p>1～3年 中学体育実技 新体力テスト</p>
	<p>【個人で用意していただくもの】</p> <p>体操服：運動に適した華美にならないものを各自準備してください。転入生については、もとの学校で指定されたものがあれば、それを着用しても構いません。</p> <p>〈夏期〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紺又は黒の短パン ・白の半袖シャツ（派手でないもの・運動に適したひもつきシューズ(グラウンド用と体育館用) <p>〈水泳学習〉水泳帽 水泳着（華美にならないもの。水泳技能の習得を目的とするので、それに適した水着）</p> <p>〈冬期〉</p> <p>長袖体操服上下（一般スポーツ店で売っているジャージも可、ただしフード付きは不可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色やデザインなど華美にならないもの ・冬も短パン、白の半袖シャツは中に着用（室内で行う場合は半袖、短パン） <p>柔道着：持っていない人に向けて、業者が来校し販売する予定です。スポーツ用品店での個人購入も可 ※5</p>

◎ 地震、火災、その他の災害時に頭部を保護するために、防災頭巾、またはそれに準ずるものの準備をお願いします。

- ※1 電子辞書は、紛失等のトラブル防止のため、持ってきてはいけません。
- ※2 YAMAHA (YRA-28BⅢ) (バロック式) をお薦めしています。バロック式のアルトリコーダーであれば、同程度のものがあればこの品に限りません。韓国や日本のインターネットショッピングでも購入することができるようです。
- ※3 英会話のテキストは、学年で年度初めに全員一括購入しますが、年度途中の編入や会話テストの結果、クラスが変わる場合は個別に購入していただきます。学校で書店紹介・購入方法の案内などを行います。
- ※4 韓国語のテキストは、3年間共通のものを1年生入学時に全員一括購入しますが、編入や会話テストの結果、クラスが変わる場合は個別に購入していただきます。学校で書店紹介・購入方法の案内などを行います。
- ※5 体育の学習の中で「柔道」が必須となっています。柔道着の準備が必要になりますのでご用意をお願いします。（11月以降に実施・学校でも斡旋します。）

3年生では、5教科については自分にあつた入試問題集を準備することをお薦めします。また、本校の授業は7時間授業で行われていることもあり、1日に使用する教科書やノートが多いため、次の教材は持ち帰らなくて良いものとして指導を行っています。

【自宅に持ち帰らなくて良いもの】

教科	教材	教科	教材
国語	便覧・辞書	技術・家庭	すべて
数学		美術	すべて
社会	地図帳・資料集・ファイル	韓国語	テキスト・ファイル
理科		英会話	テキスト・ファイル
英語		音楽	すべて・アルトリコーダー (定期的に洗浄すること)
体育	体育実技と保健の教科書		

6. 進路に関して

本校の進路学習は、「生き方」学習と位置づけ取り組んでいます。高校入試は最終目標ではなく、これからの長い人生における1つの関門にすぎません。そのため、本校卒業後も、常に前向きな目標を持ち、自らの力で進路を切り拓いていってほしいと考えています。

現在、生徒が自信を持って本校から高校受験ができるよう、下記の取り組みを行っています。

- ・卒業生の受験資料の積み上げ
- ・高校情報などの資料収集
- ・1年生からの成績を継続的に記録して行う進路指導（保護者配付資料・後に掲載）
- ・定期的な校外模試の実施（年4回）

しかし、海外から日本の高校を受験する場合、多くの不安と労力を要します。そして、個々の進路先が違うため、それぞれの子どもが自分自身の力で進路を見つめ、高校の情報を収集し、学校訪問・受験校選択・書類入手・書類作成そして提出など、一連の作業を主体的に行なわなければなりません。保護者の皆さまに協力をお願いすることが多々あります。これらの作業を主体的に行うことのできた卒業生たちは、驚くほど成長をして卒業をしていきます。このような経験は、日本では決してできない経験の1つですし、人生の分岐点でこの経験は必ず生きるものと信じています。

本校では、海外という特殊事情の中でも、子どもたちが自己実現に向けて主体的に取り組んでいくことが出来るよう、3年間の進路の流れを記載した「進路シラバス」を作成し、学活や保護者会等を通じて説明をしています。

本校の進路シラバス

1年生の目標：

- ・学習習慣を確立させよう…中学校では、宿題に頼らない家庭学習が必要です。予習を中心とした学習法と学習習慣を身につけよう。
- ・中学校生活の目標を設定しよう…将来どんな自分になりたいのかを探していこう。
- ・適性や職業について考えよう…自己理解を深め、興味関心や特技などから自分の将来像を描いてみよう。

	進路関係行事	進路について留意すること
4月	オリエンテーション(各教科) 学力テスト①	・自分で学習する態度を身につけよう。 「予習→授業→復習」のサイクルの確立
5月	中間考査	・中学部に入って最初のテスト。計画的に進めよう。 ・家庭学習の習慣をつけよう。
6月	期末考査	・初めての考査に向け、2週間前から計画的に準備しよう。
7月		・期末考査を振り返り、今後の学習に役立てよう。 ・夏休みに向けての具体的な学習計画を作ろう。
8月	学力テスト②	・夏休み中は自主的な学習習慣をしっかりと身につけよう。 特に、1学期の遅れがある場合は、この時期に取り戻すことが大切である。出された宿題に取り組むと共に、2学期の予習もしっかりとしておく。 また、日頃できない体験活動を積極的に行う。 ・夏休み明けのペースを早く取り戻すこと。 特に、家庭学習の習慣はしっかりとつける。
9月	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・4月・8月の学力テストの結果を比較するなどして、自分がどの分野が弱点なのかを確認しよう。 ・行事が多く、家庭学習がおろそかになってしまう時期である。そのため学習の差が大きくなりやすい時期なので、自分にあった学習方法を模索しよう。 ・職業調べ・働く意義
10月	学力テスト③	
11月	期末考査	・高校には、どのような種類の高校があるのか、また、帰国先にはどのような高校があるのか調べてみよう。
12月	福祉体験	・福祉体験を通して、人の生き方について考えてみよう。また、これを機会に社会的な問題について意識を持ってみよう。 ・定期考査や模試の結果を振り返り、自分の課題を発見しよう。
1月	学力テスト④	・冬休み中に、苦手教科の克服をするよう努力しよう。
2月	学年末考査 立志式	・具体的に、帰国先にどのような高校があるのか調べ、 「自分の適性や興味関心」にあった学校を調べる。 ・職業体験を経験した2年生が、将来の夢、目標を宣言し、自分の生き方を見つめる。
3月		・3年生の卒業を期に、自分の2年後の姿を見つめ、卒業後の進路に対する意識を向上させよう。

2年生の目標：

- ・しっかりとした展望に立って進路を考える。
- ・自分の将来像を見据えて、それを実現するための方策を考える。

	進路関係行事	進路について留意すること
4月	オリエンテーション(各教科) 学力テスト①	・家庭学習の習慣ができているか確認しよう。 「予習→授業→復習」のサイクルの確立
5月	中間考査	・進路を見据えた勉強の計画を立てよう。 ・「進路」を考える上で、高校の名前で選ぶのではなく、自分の将来像を実現するための方向と考えて、色々調べてみよう。
6月	期末考査	・自分の長所を考えた上で、将来の夢や目標、働いてみたい職業などについて具体的に考えよう。また、そのために必要な学習を考えよう。
7月		・2年生の夏休みは、3年間の「折り返し地点」です。定期考査や模試の結果を再確認し、不得意教科を補強できるよう、夏休みの計画をたてよう。
8月	学力テスト②	・夏休み中は自主的な学習習慣をしっかり身につけよう。 特に、1学期の遅れがある場合は、この時期に取り戻すことが大切である。出された宿題に取り組むと共に、2学期の予習もしっかりとしておく。 ・夏休み中に開催されている、高校の合同説明会に参加し、高校ではどのような授業が行われているのかなど、中学校と違う特徴を理解しよう。 ・夏休み明けのペースを早く取り戻すこと。 特に、家庭学習の習慣はしっかりとつける。
9月	中間考査	・中学校生活後半に向けて、3年生のスケジュールを意識しよう。 ・4月・8月の学力テストの結果を比較するなどして、2年生のうちに克服しなければならない、不得意分野について確認しよう。
10月	学力テスト③	・自分にあった学習方法が行えているか確認しよう。 ・中学校生活後半における、初めての中間考査の反省を機に、「受験準備学習」へ移行していこう。 ・職業理解・働く意義について考える。
11月	期末考査	・進路について具体的に考察し、「興味のある学校」や「行きたい学校」について考えよう。 ・これまでの模擬試験の結果を基に、高校と自分の学力を相対的に見つめ直し、今後の課題について考えてみよう。
12月		・これまで調べてきた事柄や将来への目標を元に、自分にとっての「挑戦校」「相応校」「安全校」を各2～3校見つけてみよう。 ・冬休み宿題：高校調べ 「挑戦校」「相応校」「安全校」
1月	学力テスト③ 職場体験	・職場体験を機に、将来自分がつきたい職業について考え、志望校の絞り込みに生かす。
2月	学年末考査 立志式	・学力テストの結果をもとに、志望校について再度検討し、具体的な「挑戦校」「相応校」「安全校」について考える。 ・職業体験を経験した2年生が、将来の夢、目標を宣言し、自分の生き方を見つめる。
3月		・3年生の卒業を期に、1年後の自分の姿を見つめ、進路に対する意識を向上させる。 ・春休み中に高校訪問等を行う。

3年生の目標：

・目標たち成のための自分の学習方法を確立し、継続した努力により進路実現に向けて努力する。

	進路関係行事	進路について留意すること
4月	オリエンテーション(各教科) 学力テスト① 第1回進路希望調査 第1回進路説明会	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣ができているか確認しよう。 「予習→授業→復習」のサイクルの確立 授業や定期考査の積み重ねが受験に直接繋がることを再確認しよう。 「将来やりたいこと、なりたい自分」をはっきりさせる。
5月	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 進路を見据えて、真剣に学習に取り組もう。 自分自身の進路スケジュールを一度作成し見通しをたてよう。 ※私立高校が第一志望の場合と公立高校が第一志望である場合では、大きく受験スケジュールが異なる。 ※どの受験方法で、受験を希望するのか検討する。 夏休みまでの模擬試験は、目標高校の可否判定ではなく、自分の弱点分野の発見にあることを理解しよう。
6月	第2回進路説明会 第2回進路希望調査 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 中間考査や模擬試験の結果をもとに、学習方法について再確認しよう ※予習は、模試や入試の予行演習である。 ※復習は、学力を蓄える行為である。 定期考査一週間後にその内容を復習すると定着の度合いが高まる。
7月	夏休み宿題 ・志願理由書作成 ・学校調べ ・高校訪問まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「志望校」および「気になる高校」の学校訪問の予定を計画し、高校側と連絡を取る。 次の点を加味して、夏休みの学習計画を作成する。 <input type="checkbox"/> 個人成績から、自分の弱点科目・分野を読み取る。 <input type="checkbox"/> 自分の志望校の受験科目や各教科の配点などの入試情報を調べる。 <input type="checkbox"/> 志望校の入試情報と自分の現在の成績状況を照らし合わせる。
8月	学力テスト② 第3回進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中は自主的な学習習慣をしっかり身につけよう。 成功する夏休みの学習方法 <input type="checkbox"/> 本気でいきたい高校を見つける。 <input type="checkbox"/> 志望校の入試情報をできる限り入手する。 <input type="checkbox"/> オープンキャンパスなどを利用し、高校訪問を行う。 <input type="checkbox"/> 自分の実力を正確につかむ。 <input type="checkbox"/> やるべき学習に優先順位をつける。 <input type="checkbox"/> 何をどこまでやるか、具体的な目標を持つ。 <input type="checkbox"/> 周りに惑わされず、自分のペースで学習する。 <input type="checkbox"/> 新学期の学力テストを目標に取り組み、学習の成果を確認する。 <input type="checkbox"/> できるだけ、高校訪問を実施する。 ※通知表や模試の結果を持ち込み、高校の先生に進路相談をお願いしアドバイスをもらう。 ※過去問題をもらう。 ※具体的な、入試日程や入試資料の請求方法について確認する。 <input type="checkbox"/> 夏休み中に開催されている、高校の合同説明会に参加する。 <input type="checkbox"/> 受験本番を意識して学習し、受験すること。
9月	三者面談 中間考査 第3回進路説明会	<ul style="list-style-type: none"> 学校訪問の結果を考慮し、具体的な進路スケジュールを再検討する。

10月	学力テスト③ 第4回進路希望調査	年内受験者	年明け受験者
		◎資料請求（2部） ・面接指導 ・志願理由書指導 ・作文指導	
11月	期末考査 ◎最終進路希望調査 ◎三者面談 ◎受験成績通知	◎志望校の書類一式を担任へ提出 （書類渡し2週間前まで） ◎願書作成・確認・提出	・面接指導 ・志願理由書指導 ・作文指導 ※公立：受験説明会 ◎三者面談 ・受験校の確定 ・帰国日程・受験計画の確認 ・受験校書類一式を担任に提出 （書類渡し2週間前まで）
12月		◎受験 ◎合否発表 ◎入学手続き	◎提出書類の確認 ・願書等提出書類を作成し、担任に提出 ・提出書類一式を確認 ・書類渡し （担任→保護者） ※公立：受験資格申請
1月	学力テスト④		※公立：受験資格申請
2月	学年末考査		◎願書提出
3月	卒業式		◎受験 ◎合否発表 ◎入学手続き

進路状況 平成27～29年度（3年間）の合格校（編入除く）

平成27年度

<公立>

【千葉県】

船橋高校

【東京都】

東京工業高等専門学校

東京学芸大学附属高校

【岐阜県】

岐阜高校

【滋賀県】

膳所高校

【長崎県】

五島高校

【宮崎県】

宮崎大宮高校

<私立>

【千葉県】

市川学園市川高校

専修大学松戸高校

流通経済大学付属柏高校

【東京都】

国際基督教大学高校

慶応義塾女子高校

【岐阜県】

鶯谷高校

【愛知県】

滝高校

【滋賀県】

立命館守山高校

【京都府】

洛南高校

立命館宇治高校

同志社国際高校

【宮崎県】

宮崎日本大学高校

日向学院高校

平成28年度

<公立>

【神奈川県】

新城高校

【愛知県】

千種高校

【京都府】

山城高校

<私立>

【北海道】

立命館慶祥高校

【茨城県】

茗溪学園高校

土浦日大高校

【千葉県】

市川学園市川高校

専修大学松戸高校

流通経済大学付属柏高校

【東京都】

国際基督教大学高校

明治大学付属明治高校

創価高校

【神奈川県】

横浜創英高校

【岐阜県】

大垣日大高校

【愛知県】

名古屋高校

【滋賀県】

立命館守山高校

【京都府】

同志社国際高校

京都外大西高校

【鳥取県】

青翔開智高校

【佐賀県】

早稲田佐賀高校

<海外>

【中国・上海】

上海日本人学校

【シンガポール】

早稲田渋谷シンガポール校

平成29年度

<国・公立>

【東京都】

日野台高校

【愛知県】

新川高校

【京都府】

嵯峨野高校

【大阪府】

大阪教育大学附属高校

平野校舎・池田校舎

【広島県】

尾道北高校

<私立>

【埼玉県】

昌平高校

浦和実業学園高校

【千葉県】

麗澤高校

【東京都】

桐朋女子高校

京華高校

聖徳学園高校

目白研心高校

二松学舎高校

国際基督教大学高校

桜岡高校

【神奈川県】

鎌倉学園高校

桐蔭学園高校

【京都府】

同志社国際高校

京都女子高校

花園高校

【奈良県】

奈良育英高校

【兵庫県】

甲南高校

【広島県】

如水館高校

近畿大学附属広島福山校

尾道高校

7. 学校からのお願いとお知らせ

(1) 緊急時・災害時の場合

- ①登校前に、台風や降雪等で危険が予想される場合は、学校からも連絡網により連絡します。
- ②緊急下校をしなければならなくなった場合には、すぐに連絡網により連絡します。緊急下校訓練は春と秋に1回ずつ実施します。
- ③自宅の電話番号や携帯番号が変わった場合は、担任まで連絡をお願いします。

(2) 病気・怪我の場合

- ①前夜または、登校前に体の具合が悪いときは、無理をして登校させずに休ませてください。また、欠席・遅刻するときは、必ず担任に連絡してください。
- ②学校において発熱等で具合が悪くなったり、怪我をしたりした場合には、適切な処置をするとともに、必要に応じて早退させます。その時はご家庭へ連絡します。連絡方法が別にある場合は、前もって担任にお知らせ下さい。
また、かかりつけの病院等がある場合は、事前に担任にお知らせ下さい。
- ③感染性の病気の場合は、学校での集団感染を防ぐために、全快するまで休ませてください。また、病名等は必ず学校に連絡してください。

④学校感染症（出席停止が必要となるもの）

第1種学校感染症 — 感染症予防法第6条に規定する一類と二類感染症、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、鳥インフルエンザ（H5N1）

第2種学校感染症 — 飛沫感染するもので、児童などの罹患が多く、学校における流行を広げる可能性の高いもの

インフルエンザ（鳥インフルエンザ〈H5N1〉を除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹（3日ばしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜炎（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

第3種学校感染症 — 学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性のある感染症
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

その他

溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）

※ソウル日本人学校では、スクールバス登校や海外であることを考慮し、出席停止の措置をとっています。

(3) 来校について

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、学校の安全管理を徹底しています。そのために、保護者のみなさんが来校される場合「**ネームプレート（写真入）**」の**提示**を求め、保護者であることが一目でわかるようにしていただいています。ネームプレートの提示がない場合は、校内への立ち入りが出来ませんので、警備室で所定の手続きを済ませた後、お入り下さい。ネームプレートの作成は、入学後にさせていただきます。なお、本校の保護者で、すでにお持ちの方はそのままご使用いただけます。

なお、退学時にはネームプレートの中身だけ担任に提出していただきます。

(4) 学校生活を送るためのアンケートについて

別紙資料